



105名
を動かす
グルグル
アクティブ
スイミング

静 哲人

大東文化大学

「英語教育学入門A・B」

- 外国語学部英語学科の1年次・自由科目
- Aが前期・Bが後期
- 今年度の履修者数 105名
- 教材 英語の歌（A・Bそれぞれ8曲）
- 内容 実際に歌うトレーニングをする
- 目的
 - （主）発音技能を鍛え、音節感覚を養う
 - （副）歌詞の語彙を学習し、文法を補強する

授業のラショナルの説明

英語の歌を歌おうとすることで、英語リズムの鍵である英語式の音節の発音方法が身につく。英語の歌は、発音の矯正器具（＝正しい発音を強制する器具）だ。

理由：歌詞の音節（の数）はメロディの音符（の数）と原則として一致している。

→ 英語としての音節を守らないカタカナ式の読み方だと、メロディの音符と合わなくなる

→ メロディの音符に合わせようとするとカタカナ読みをやめ英語の音節を守らざるを得なくなる

歌詞と和訳はこちらで用意

One Thing (by One Direction)

1. I've tried playing it cool クールを演じてみた (演じてた~クール)
2. But when I'm looking at you でも君を見てる時は (君見ている~と)
3. I can't ever be brave どうしても勇敢になれない (強がれな~い)
4. Cause you make my heart race 君が僕の心臓をバクバクさせるから (胸ドキド~キ)
5. Shot me out of the sky 僕を空から撃ち落とされたね (撃ち落とされた)
6. You're my Kryptonite 君は僕のクリプトナイトさ (君にはかなわない)
7. You keep making me weak 君は僕を弱くしてしまう (力が抜けるよ)
8. Yeah, frozen and can't breathe 凍りついて、息ができない (息できな~い)
9. Something's gotta give now 何かはきっと弾けるにちがいない (もう限界)
10. Cause I'm dying just to make you see だって分かって欲しくて死にそうなんだ (わかってほしいから)
11. That I need you here with me now 今君が必要だと (いまこ~こにいて~よ)
12. Cause you've got that one thing だって君はあの「あるもの」を持っているから (きみは持っている)
13. So get out, get out, get out of my head だから僕の頭からでて (さあ！ボクの妄想から出て)
14. And fall into my arms instead 僕の腕のなかにおいで (この腕においで)
15. I don't. I don't. don't know what it is それがなんだか知らない (説明はできない)

音源はYouTube映像を加工

- 画面を見ながら歌えるように、大きく歌詞を入れる



1 コマの手順（2週で1曲）

- （予習でその日の曲の歌詞を手書きして持参）
- 5分：前回の曲の歌詞で小テスト（→個人得点）
- 20分：その日の曲を全体練習
- 15分：グループ毎の練習を見回り
- 45分：グルグル（→グループ得点）
- 5分：仕上げで全員で歌う

「グルグル」とは

- 4人グループ（自分たちで決めた）
- 歌う箇所（ひとつづきの4行）は教員が指定
- 「仕上がった」ら、教員のところにきて歌詞を見ずに歌う
- 4人ともノーミスなら○（→40点、また列の後ろにつき次の箇所を）
- 一人でもミスしたら（→0点、また列の後ろにつき再度挑戦）
- これを時間の限り繰り返す

前期に扱った曲

スローな曲と、アップテンポな曲
古い曲と、新しい曲を組み合わせ

1. You belong with me (Taylor Swift)
2. My heart will go on (from Titanic)
3. One thing (One Direction) ←ビデオ
4. The rose (Bette Midler)
5. Roar (Katy Perry)
6. Smile (Charlie Chaplin)
7. Let it go (from Frozen)
8. Loser like me (Glee)

前期を終えて学生のコメント

... 授業は楽しく、一度も欠席することなく前期を終える事ができました。もともと洋楽を歌うことが大好きなので、何曲か元から歌える曲はありましたが、LとRの発音やthの細かい舌や息の使い方まで気にしたことがなく、ぐるぐるで引っかかることが何度もありました。でも、それを繰り返していくうちに、**普段洋楽を歌うとき以外の発音でも自然とthやL, Rの発音が出てくるようになり、ほかの授業の暗唱テストの時も、発音を褒められました。**

前期を終えて学生のコメント

楽しんで学ぶということは、こういうことなんだな、と痛感しました。**あんな大人数なのに、宗教のように学生の皆は真面目に楽しそうに取り組んでおり、こんな一体感のある授業はこの英語教育学入門だけなんじゃないかな、**と書いてます。毎回プリントに歌詞を書くというきつい課題もありましたし、**私の苦手な小テストもありましたが、毎回全力で取り組みました。**この授業ではフルに努力を發揮できたので、自分を褒めたいです。

前期を終えて学生のコメント

...歌を楽しく歌いながら英語の発音を正しく学ぶことが出来るなんて素晴らしいと思います。**ダメなところはズバズバと言いい良いところは褒めてくれる先生のスタイルが私達のやる気を高めてくれました！**英語を勉強している以上正しい英語の発音が出来ないという事は恥ずかしい事だと思わなければいけなく、学生のうちに学べる事に誇りをもって授業に参加する事が出来ました。後期の授業も楽しみにしております。前期ありがとうございました！

後期に向けて考え中のこと

- グループメンバーを毎回変えてみたらどうか、という提案があった...
- 最終プレゼンテーションのようなものはできないか...